討議資料

宇田川よしひで 市議会ニュース

vol.86
2021年1月

「沢山の人の 沢山の幸せを見たいから
今までも そして これからも頑張ります」

令和2年 第4回
12月市議会定例会

市政に関する報告

所信と報告から

令和2年11月30日～
12月22日までの23日間

市長提出議案

今回提出された議案は、予算議案7件、条例等の一般議案41件と追加議案として、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策協力金の補正予算議案であります。

予算議案につきましては、一般会計において、民間保育所施設整備費等に係る18億5798万1千円の補正を、特別会計では、国民健康保険事業特別会計をはじめ3会計、18億3858万円の補正を、また企業会計では、水道事業会計をはじめ2会計の債務負担行為補正及び病院事業会計において、2億2414万5千円の補正です。

一般議案につきましては、「川口市学童等災害共済条例及び川口市学童等災害共済基金条例を廃止する等の条例」など、条例議案12件、契約議案1件、訴えの提起議案1件、専決処分の承認議案1件、公の施設の指定管理者の指定議案18件、公の施設の指定管理者の指定の期間の変更議案1件、市道路線の認定及び廃止議案4件、人事議案3件です。

新型コロナウイルス感染症について

本市においても、高齢者施設でクラスターが発生するなど、感染は拡大しており、11月29日までに、874名の方が陽性となり、21名の方がお亡くなりになりました。

新型コロナウイルス感染症の感染者が国内で初めて確認されてから1年が経とうとしています。この間、市保健所を中心に、新型コロナウイルス感染症対策に取り組んできました。

2年前の中核市移行に伴い、市民に身近な市が保健所を設置したことにより、医療機関との連携した新型コロナウイルス感染症対策を地域の実情に応じて本市主導で迅速に実行できるという、市保健所のメリットが最大限発揮されているところです。

さらに、年末年始を控え、新型コロナウイルス感染症と併せ、季節性インフルエンザウイルスの同時流行が懸念されることから、発熱等の症状がある方が安心して受診できる医療提供体制の確保を迅速に進め、市内75箇所の医療機関で発熱外来を設置いたしました。

令和3年度の予算編成について

川口市が持続的に発展していくために必要な、多岐にわたる事業の財源となる歳入の確保に鋭意努め、その成果を反映して、今年度の一般会計当初予算を市制施行以来最大規模の2079億円としたところであり、市民が求める様々な事業を積極的に展開しているところです。

特に、市税の収納率の向上に努めた結果、決算ベースで平成25年度の市税全体の収納率は、90.6%であったものが、令和元年度には97.2%と6.6ポイントの向上し、市税収入額においては、平成25年度の約891億円から令和元年度の約974億円へと、約83億円の増収としたところです。

来年度の予算編成にあたっては、歳入においては、新型コロナウイルス感染症の影響から、市税収入は調定額ベースで約55億円の減となる試算もありますが、国の財政支援の積極的な活用など、あらゆる手段を講じて歳入確保に鋭意取り組み、一般会計においては、引き続き2000億円を超える規模の予算とする見込みです。

歳出においては、3大プロジェクトを着実に進めるほか、新型コロナウイルス感染症に対する「新しい生活様式」の定着及び収束後を見据えた取り組みを進めていきます。

また、扶助費等の義務的経費や、施設・設備の維持のための小規模な工事等の増加が見込まれることから、選択と集中を徹底し、真に必要な施策にはしっかり予算を配分していきます。

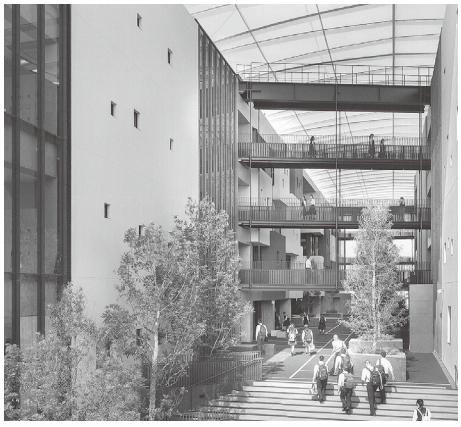
川口市立高等学校附属中学校（中高一貫校）について

生徒募集要項説明会については、感染防止を図りながら多くの参加希望に応えるために、開催回数を4回から6回に増やし、10月18日、25日の2日間にわたり市立高等学校で開催したところ、1学年の生徒の募集人員80人に対して、600人を超える参加がありました。

参加者からは、「最新の設備で、中学・高校の6年間を一貫して学べることに魅力を感じる」などの感想をいただき、市民の皆さんから、高い関心が寄せられているところです。

いよいよ来年4月に開校する中高一貫校では、6年間を見通した計画的・継続的な教育課程や、グローバルな視野を育成する国際理解教育、大学との連携による科学技術教育など、一人ひとりの個性を伸ばす特色ある教育が展開され、生徒は高校受験の影響を受けずに、落ち着いて勉強に打ち込むことができます。

川口市初の中高一貫校で学ぶことを熱望している、意欲にあふれる子どもたちの中から、難関国公立・私立大学への合格者や様々な分野で活躍する若者が多数輩出されることを、大いに期待するものです。



川口市立高等学校附属中学校

※ここまでのレポートは市長の所信と報告を抜粋・加筆して作成しております。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けた本市の追加対策について

1. 県の時短要請に対応した飲食店等に対する協力金の上乗せ支給　3.8億円

埼玉県の営業時間短縮要請（12/4～17の14日間）に応じた市内飲食店等に対し、県の協力金日額2万円に、市独自で日額1万円を上乗せ支給する。【経済部産業振興課】

（積算）1万円 × 14日 × 2,700店舗 ＝ 3.8億

2. ひとり親家庭に対する支援金の追加給付　1.1億円

市内在住のひとり親世帯のうち、児童扶養手当受給者に対し、一律3万円の支援金を追加給付する。

※申請は不要で児童扶養手当支給口座に振り込みする。【子ども部子ども育成課】

（積算）3万円 × 3,600世帯 ＝ 1.1億

3. 新型コロナ入院対応医療機関の従事者に対する慰労金給付　0.6億円

新型コロナウイルス感染症の入院対応をする市内医療機関の従事者に対し1万円の慰労金を医療機関を通じて給付する。【保健部保健総務課】

（積算）1万円 × 6,000名（6医療機関） ＝ 0.6億

合計 5.5億円 → 12月議会で補正予算を追加提案

※新型コロナウイルス感染症対策としては、当初提案分と併せ、合計8.1億円

《参考》9月議会補正予算までの本市の主な新型コロナウイルス感染症対策（予算額ベース）

（※は今年度末まで継続して補助を実施）

- 緊急経済対策第1弾（小規模事業者等10万円）　約16.0億円
- 緊急経済対策第2弾（中小企業等20万円）　約12.1億円
- 外来・入院対応医療機関に対する支援パッケージ　約4.5億円※
- 水道料金の値上げの延期（年末までの4ヵ月間）　約8.2億円
- 特別定額給付金の交付（市民1人10万円）　約614.8億円
- GIGAスクール構想（児童生徒1人1台の端末）　約40.0億円
- 「元気・川口商品券」発行支援事業　約5.0億円
- 中小企業・個人事業主等への家賃支援　約6.2億円
- 新しい生活様式に対応する設備投資（感染防止対策等）に対する補助　約0.2億円※
- 発熱外来医療機関等に対する補助　約0.9億円※
- 妊婦に対するタクシー代等の補助　約0.6億円
- 特別定額給付金基準日（4/28）以降に出生された子への特例祝い金　約1.1億円 など

総額　743.9億円

家庭学習のための通信機器整備事業について

内　容　GIGAスクール構想の実現と併せ、子供の学びの保障と教育の機会均等の観点から、臨時休校時等においても、家庭学習が可能となるインターネット通信環境を提供するもの。

対象者　家庭にインターネット環境がない児童生徒（通信費の支援は準要保護世帯が対象）

整備内容　モバイルWi-Fiルーター、通信費（期間：令和3年1月から3月までの3か月）

整備台数　小学校1,000台、中学校500台

通信費　小学校200台分、中学校100台分

歳出の内訳　インターネット接続通信費 267万3千円
教育用器具費 1,732万5千円

※GIGAスクール構想とは、義務教育を受ける児童生徒のために、1人1台の学習者用PCと高速ネットワーク環境などを整備する5年間の計画です。

中学校体育館空調機設置事業について

内　容　中学校における安全・安心な夏季の学校活動のための環境を整備するとともに、災害時の防災拠点としての機能向上を図るため、全26校の体育館に空調機を設置するもの。なお、設置にあたっては、停電時にも発電が可能なLPガス式の空調機を、各地区に1ヵ所ずつ（計10ヵ所）導入するもの。

●第1期工事（対象校13校）
設置工事：令和3年1月から令和3年8月まで
稼働開始予定：令和3年8月

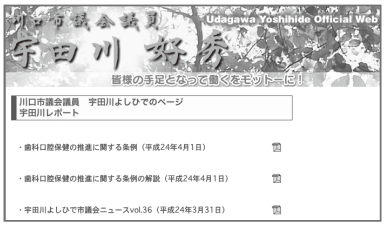
LPガス式	南　中	青木中	元郷中	東　中	北　中	芝　中	安行中	戸塚中
都市ガス式	仲町中	上青木中	芝東中					
電気式	神根中	鳩ケ谷中						

●第2期工事（対象校13校）
実施設計：令和3年1月から令和3年10月まで
設置工事：令和3年度から令和4年度まで
稼働開始予定：令和4年度

LPガス式	西　中	里　中					
都市ガス式	幸並中	十二月田中	領家中	芝西中			
電気式	榛松中	在家中	岸川中	小谷場中	安行東中	戸塚西中	八幡木中

編集発行
川口市議会議員
宇田川　好秀
埼玉県川口市安行1117
TEL.048-294-3131 FAX.048-296-7070
印刷/コスモプリンツ株式会社

市政情報発信



http://gakkainavi.com/udagawa/report.html

宇田川レポート更新中!!